

平成30年度「**激推 イノシカバーガー**」販売を継続

奉協
仕力



勤誠
勉実

創立53年



秩父地域唯一の商業高校

埼玉県立 皆野高等学校

minano high school



HPアドレス <http://www.minano-h.spec.ed.jp> TEL 0494-62-2076

地元の特産物（ジビエ）を商品化「**激推 イノシカバーガー**」 今年度も対面販売の実習で、商品と商業の魅力を伝える！！

皆高の新たな魅力が誕生しました。「^{げきおし}激推 イノシカバーガー」が平成29年度に商品開発され、世に出ました。売れ行きも絶好調！問合せも多数寄せられています。商品名も中々良いものとなりました。皆高生が地域の資源（高級食材ジビエ）を活用し、地元企業の皆様の協力を受け、約半年間の月日をかけて商品開発しました。平成30年1月21日（日）長瀬のヤマブ宝登山売店での販売実習を皮切りに秩父駅地場産センター、道の駅ちちぶ、尾ノ内溪谷氷柱会場、矢尾百貨店、秩父みやのかわ絆バザール、みなみの美の山さくらマラソン、秩父市の多豆、秩父市ベルク、秩父鉄道イベント列車車内販売、長瀬駅など12日間13回実施してきました。販売合計は1200個を超え、生徒の頑張りが認められていると思います。

この取組は、地域の特産物を生かした商品開発を進めようと、約6か月間をかけ、地元企業3社（新井武平商店、肉の宝屋、菓子工房橋本）の全面的なご支援、ご協力で実現しました。本校の担当は、2年生の選択授業「マーケティング」（13名）の生徒達でした。

この授業では、売れる商品を開発するために、企業からの経営戦略の講義から始まり、アイデアの絞り込み、複数回の市場調査や試作品づくりなど、全員参加で試行錯誤を繰り返し、商業の源である「冒険」を体験しました。「地元の魅力を多くの人に知ってもらえる商品とはどんなものなのか」答えのない課題に対して授業を進め、生徒のやる気を引き出す手法で取り組ませ、この商品化は先生方の生徒に対する接し方や指導法の成果でもあると考えています。ゼロからの新商品を生み出すことは、商業の醍醐味です。全員の意欲と行動で地域の特産物に光を当てることができました。現在は「いつ、どこで売るか、どう売るか」など、お客様の気持ちになり、様々な工夫と苦労が続いています。こういうことが授業の中で学べる商業高校は、あらためて素敵な学校だと感じています。



詳細は、皆野高校 HP をご覧ください！